

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校東京テクニカルカレッジ
設置者名	学校法人小山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築監督科（4年制）	夜・通信	3675 時間	320 時間	
	建築科（2年制）	夜・通信	1485 時間	160 時間	
	インテリア科（2年制）	夜・通信	1920 時間	160 時間	
	情報処理科（2年制）	夜・通信	1380 時間	160 時間	
	I o T + A I 科（2年制）	夜・通信	1890 時間	160 時間	
	データサイエンス+AI 科（2年制）	夜・通信	1905 時間	160 時間	
	Web 動画クリエイター科（2年制）	夜・通信	1605 時間	160 時間	
	ゲームプログラミング科（2年制）	夜・通信	1800 時間	160 時間	
	バイオテクノロジー科（2年制）	夜・通信	1230 時間	160 時間	
	環境テクノロジー科（2年制）	夜・通信	930 時間	160 時間	
	ブリッジエンジニア科（1年制）	夜・通信	810 時間	80 時間	
	建築科（2年制）	夜・通信	1728 時間	90 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	専門学校東京テクニカルカレッジ
設置者名	学校法人小山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://tec.ttc.ac.jp/school/board-member/#history-officer

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	情報機器メーカー役員	2023. 5. 27 ～ 2026. 5. 26	工学系技術支援及 び先端情報の提供
非常勤	株式会社役員	2023. 5. 27 ～ 2026. 5. 26	女性活躍促進の ための情報提供
(備考) 「寄付行為」第 6 条 3 項に該当する学識経験者 なお、学外者である理事は 3 名			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京テクニカルカレッジ
設置者名	学校法人小山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
本校では実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析をおこない、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫等を含む。)に活かすことを目的に教育課程編成委員会を設置している。 教育課程編成委員会での議論をもとに授業計画書(シラバス)を策定し、公開している。なお、毎年6月末日に次年度入学者向けのシラバスを公開する。	
授業計画書の公表方法	https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
本校では、科目の可否は原則的に履修判定試験のみでおこない、60%の理解度をもって合格とする。履修判定試験は「筆記試験」・「実習試験」でおこなわれるが、作品制作やレポートなど普段の授業の中でおこなわれる提出物の評価を履修判定試験内でおこない評価することがある。その場合の評価の方法については、講義概要(コマシラバス)の中に明記される。 成績評価は履修判定試験の結果が100点～80点のものをA(合格)、79点～70点のものをB(合格)、69点～60点のものをC(合格)、59点以下のものをD(不合格)として成績評価とする。なお、「履修時間表」に記載された卒業に必要な履修科目を全て履修した場合に卒業できる。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修判定試験の結果が100点～80点のものをA(合格)、79点～70点のものをB(合格)、69点～60点のものをC(合格)、59点以下のものをD(不合格)として成績評価とする。 このA～Dの評価を、A＝3点、B＝2点、C＝1点、D＝0点として各科目の成績を点数化のうえ合計し、総科目数で割り指標数値を算出して各科の成績分布の指標とする。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では各科ごとに卒業の認定方針(ディプロマポリシー)を策定し、公開している。卒業においては履修時間表に定められたすべての履修科目の履修を、進級においては当該年度のすべての履修科目の履修を条件としている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校東京テクニカルカレッジ
設置者名	学校法人小山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月末に最新情報を HP 上で公開している。 https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	同上。
財産目録	同上。
事業報告書	同上。
監事による監査報告（書）	同上。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	建築監督科 (4 年制)			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3705 単位時間 / 単位	1110 単位時間 / 単位	960 単位時間 / 単位	2595 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			4665 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		41 人	7 人	3 人	20 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 建設業界（大手・準大手ゼネコン、施工管理等）			
（就職指導内容） 3 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級建築施工管理技術者検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	4 人	7.8%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程		建築科 (2年制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位		885 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
				2460 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
120人		91人	34人	3人		10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	21人 (63.6%)	12人 (36.4%)
（主な就職、業界等） 建設業界（ゼネコン、施工管理、意匠設計、設備設計、ハウスメーカー等）			
（就職指導内容） 1年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級建築施工管理技術者検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67 人	3 人	4.5%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	インテリア科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	750 単位時間/単位	540 単位時間/単位	1170 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2460 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		44人	14人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	6人 (66.7%)	1人 (33.3%)
（主な就職、業界等） 建設業界（ハウスメーカー、住宅・商空間リフォーム、建築設計・施工管理等）			
（就職指導内容） 1年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） インテリアコーディネーター、色彩検定3級			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31 人	4 人	12.9%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失、精神疾患、帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	270 単位時間/単位	540 単位時間/単位	1650 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2460 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		72人	46人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業界（システムエンジニア、プログラマ、WEBシステム開発等）			
（就職指導内容） 1年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） OracleMasterSQL 基礎、基本情報技術者			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	6 人	13.0%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失、精神疾患、帰国、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	IoT+AI 科 (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1890 単位時間 / 単位	360 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	1530 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2430 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		43 人	35 人	1 人	10 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (75.0%)	2 人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業界（IoT エンジニア、AI エンジニア、Web エンジニア、インフラエンジニア、組込みエンジニア、システムエンジニア など）			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) IoT システム技術検定 基礎・中級／AWS 認定クラウドプラクティショナー／C 言語プログラミング能力認定試験 2 級・3 級／Python 3 エンジニア認定基礎試験／統計検定 3 級・データサイエンス基礎／基本情報技術者 など (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) —		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	データサイエンス+AI 科 (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1905 単位時間 / 単位	375 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	1530 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2445 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		33 人	26 人	2 人	10 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業界（データサイエンティスト、データアナリスト、システムエンジニア、データベースエンジニア等）			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 統計検定2級・3級・データサイエンス基礎(DS基礎)(CBT)／データサイエンティスト検定／基本情報技術者／Python3エンジニア認定基礎試験・データ分析試験／ORACLEMASTER Bronze Oracle Database 11g／Tableau Desktop Specialist／G検定／日商簿記検定3級など (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失、精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	Web 動画クリエイター科 (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1890 単位時間 単位	720 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	1170 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2430 単位時間 /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		75 人	19 人	1 人	3 人	4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	0 人 (0%)	22 人 (88.0%)	3 人 (12.0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業界（WEBデザイナー、映像制作、WEBシステム開発等）			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) Web デザイナー検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	1 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 意欲喪失、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		ゲームプログラミング科 (2 年 制)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1830 単位時間 / 単位		420 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	1410 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				2370 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		52 人	14 人	1 人		5 人		7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	16 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業界（ゲームプログラマ、システムエンジニア、ソフトウェア開発等）			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） C 言語プログラミング能力認定試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	3 人	8.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的事情、精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	バイオテクノロジー科 (2 年制)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 / 単位		705 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	1215 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
				2460 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
60 人		42 人	6 人	3 人		8 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (78.9%)	4 人 (21.1%)
（主な就職、業界等） 食品・医薬・化学業界（品質管理、研究開発、研究支援、分析等）			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 有機溶剤作業主任者、特定化学物質等作業主任者、中級バイオ技術者			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	5 人	10.4%
(中途退学の主な理由) 体調不良、学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	環境テクノロジー科 (2 年制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 / 単位	630 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	1290 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2460 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		12 人	1 人	2 人	10 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	1 人 (10.0%)	9 人 (90.0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 環境設備の建設・保守・管理、水質調査・分析等			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公害防止管理者（水質 4 種）、環境再生医（初級）			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	3 人	18.8%
(中途退学の主な理由) 学力不振・家庭環境・精神疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ブリッジエンジニア科 (1 年制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	810 単位時間 / 単位	300 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	510 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			810 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		82 人	81 人	4 人	1 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
80 人 (100%)	80 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 情報通信業界（ブリッジエンジニア等）			
（就職指導内容） 1 年次各期末に全科合同で就職プログラムを実施。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスも行っている。また、各科にて、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) —		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1728 単位時間 / 単位	896 単位時間 / 単位	540 単位時間 / 単位	832 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2268 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		60人	0人	1人	8人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照。
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者・欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (%)	1人 (5.3%)	18人 (94.7%)
（主な就職、業界等） 建設業界（ゼネコン、施工管理、意匠設計、設備設計、ハウスメーカー等）			
（就職指導内容） 夜間学科の特性上就業者の学生が多いため、就職希望者には任意にて昼間学科と同様の就職プログラムが受けられるよう準備・対応している。女子学生や留学生を対象とした就職ガイダンスの他、履歴書等の確認、模擬面接等を実施している。			

(主な学修成果（資格・検定等）) 2級建築施工管理技術者検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	6 人	11.3%
(中途退学の主な理由) 転職・意欲喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の斡旋を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や事務長、副校長が個別相談を実施している。 いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
建築監督科 (4年制)	300,000 円	485,000 円	632,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
建築科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	612,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
インテリア科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	612,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
情報処理科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	642,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
IoT+AI 科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	642,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
データサイエンス+AI 科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	642,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
Web 動画クリエイター科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	642,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
ゲームプログラミング科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	642,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
バイオテクノロジー科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	652,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
環境テクノロジー科 (2年制)	290,000 円	485,000 円	652,000 円	実験・実習費、施設費、維持費、研修費
ブリッジエンジニア科 (1年制)	100,000 円	365,000 円	360,000 円	実験・実習費、施設費、維持費
建築科 (2年制)	150,000 円	340,000 円	220,000 円	実験・実習費、施設費、維持費
修学支援（任意記載事項）				
本校では、学校独自の奨学金・授業料等減免制度として、成績優秀者に対して特待生制度や後援会企業奨学金制度を設けている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
本校が実践的かつ専門的な職業教育を実践するにあたり、学校関係者（卒業生、在校生保護者、地域、企業・団体等）による学校評価を実施し、学校のステークホルダーに理解され信頼されるよう努めるとともに、より良い学校づくりのために学校経営の改善、促進に寄与することを目的に学校関係者評価委員会を設置し、委員長1名副委員長1名をそれぞれ委員の互選により定め、年2回の委員会を開催し必要な事項について検討し決定している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
システム開発会社	2025.04.01 ～2027.03.31	卒業生
ゲーム開発会社	2025.04.01 ～2027.03.31	卒業生

建築設計会社	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	卒業生
化学系商社	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	卒業生
建築系学科の学生の保護者	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	在校生保護者
情報・IT 系学科の学生の保護者	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	在校生保護者
バイオ・環境系の学生の保護者	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	在校生保護者
経済団体 IT 企業	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
IT 企業 地域づくり団体	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
特定非営利活動法人	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
デザインアトリエ事務所	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
キャリア教育・就職支援会社	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
教育事業会社	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
教育事業会社	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
キャリア教育・就職支援会社	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	企業・団体
町内会	2025. 04. 01 ～2027. 03. 31	地域
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://tec.ttc.ac.jp/school/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://tec.ttc.ac.jp/>